

会報



社団法人 神奈川県空調衛生工業会

第100号



目 次

新年のごあいさつ	会長 川本 守彦	1
新年のごあいさつ	神奈川県知事 松沢 成文	2
新年のごあいさつ	横浜市長 中田 宏	3
新年のごあいさつ	川崎市長 阿部 孝夫	4
平成20年新年賀詞交換会		5
当工業会設立40周年記念「クリスマス ハートフル コンサート」		6
定例理事会議事報告（11月・12月・1月）		9
横浜市まちづくり調整局平成19年度合同安全パトロール ..	安全委員会	10
横浜市優良工事表彰式		15
会員消息		15
編集後記		15



新年のごあいさつ

会 長 川 本 守 彦

平成20年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

昨年は、皆様方のお力添えを賜わり、工業会設立40周年の諸事業を無事遂行することができました。心より厚く御礼申し上げます。

日本経済は、緩やかな回復を続ける中で、米国のサブプライムローンに端を発する金融市場の混乱が実体経済にも影響を及ぼし始め、また原油価格の高騰などのインフレ圧力から景気減速リスクが増大し、先行きの不透明感が強くなりつつあります。建設業界は、公共工事の顕著な縮減傾向、改正建築基準法による確認審査の厳格化に伴う民間工事の遅延・減少、資材価格の上昇など、受注競争は激化し、さらに採算の悪化により建設関連産業の会社倒産が増勢を強める方向にあるといえます。

こうした中、昨年も建設業界では社会的信用を失墜させる事件が多く発生しました。私共はこのことを真摯に受け止め、企業コンプライアンスの確立と共に、業界従事者への浸透を図り、企業の社会的責任を意識した行動に徹し信用回復を達成しなければなりません。そしてその為にも、品質確保と適正価格での受注が極めて重要な課題で、下請け構造を脱却し主体的に仕事を請け、民間工事分野を含めた分離発注運動を推進し、私共の存在価値を示していくことが重要です。

さらに当業界の目指すべき方向を考えると、CO₂排出削減等の環境問題が世界の喫緊の課題である状況下、その一番近いところにいる産業として、当業界はこれまでに培ってきた技術力をさらに発展させ、環境保全に積極的に寄与し、社会に貢献していく使命があると思います。エンドユーザーの立場に立ち、環境に配慮した企画

から設計・施工そして維持管理まで一貫した提案を行っていく総合環境設備工事業を標榜し、主体的な行動を示し、社会に必要な業界であるという認知を得て、産業としての確固たる地位を確立していかなければならないと考えます。

行政に対しては、今後とも低迷する中小業者の育成を要請してまいります。一方で、各々が行政に頼らず、これまで様々な社会資本整備を通じて社会に貢献してきた誇りと自信を持って、自助努力していくことを怠ってはならないと思います。工業会として、経営体質の強化、工事量の確保、技術講習会・研修見学会、技術者の資質向上、安全パトロールの実施等に積極的に取り組んでまいりたいと考えます。また、2009年の横浜開港150周年記念事業に向けて積極的に協力をしていきたいと思ひます。

最後に会員の皆様とこの難局を乗り越えていく決意と行動を期待し、年頭のご挨拶といたします。



新年のごあいさつ



神奈川県知事 松 沢 成 文

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、新たな抱負や願いを胸に新春を迎えられたことと存じます。年頭に当たり、皆様のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。

私も、2期目の県政をお預かりして初めての正月を迎え、皆様と共に、神奈川の持つ多彩な力“神奈川力”を全開させ、県政改革に全力で取り組む決意を新たにしています。

昨年7月には、新たな総合計画「神奈川力構想」を策定し、「神奈川力を高め、新たな時代を創造する」という基本理念のもと、県民の皆様一人ひとりが生き生きと心豊かにくらすことのできる地域社会を目指し、さらなる取り組みをスタートさせました。

医療・福祉の分野では、がん患者の増加や最新のがん医療に対応するため、平成24～25年度のオープンを目指して県立がんセンターの総合整備に着手したほか、最先端のがん治療装置である重粒子線治療装置の導入を決定しました。また、「子ども・子育て支援推進条例」を制定し、地域ぐるみの子ども・子育て支援の取り組みも本格化させています。

そして、教育の分野では、今後20年の神奈川の人づくりの指針となる「かながわ教育ビジョン」を策定するとともに、教育施設の耐震化対策や老朽化対策などを総合的・計画的に進めるための「県立教育施設再整備10か年計画」（通称：まなびや計画）をスタートさせ、ハード・ソフト両面で教育施設の推進に取り組んでいるところです。

さらに、全国に先駆けた先進的な取り組みとして、青少年の喫煙や飲酒を防止する社会環境

づくりのための「青少年喫煙飲酒防止条例」や、知事の任期を連続3期12年までに制限する「神奈川県知事の在任の期数に関する条例」、そして、職員の不祥事を防止し、県政に対する県民の信頼を確保するための「神奈川県職員等不祥事防止対策条例」をそれぞれ制定したほか、環境対策の観点から「次世代電気自動車（EV）」の実証実験にも取り組んでいます。

少子化や高齢化の進行、人口減少社会の到来など、神奈川を取り巻く社会環境が大きく変わりつつある中、中小企業の活性化や地域における医療・福祉体制の整備、そして地球温暖化問題への対応など、県政が取り組むべき課題は依然山積しています。また、地方分権改革推進法が施行され、道州制の導入についての議論も進展するなど、地方分権改革の分野でも新たな展開が始まっています。

これらの課題に対応し、「神奈川力構想」を着実に推進していくためには、県民、NPO、企業の皆様と協働し、神奈川発の先進的な改革を実現していかなければなりません。県政の主役は県民の皆様一人ひとりです。本年も「現地・現場主義」を基本に、県民本位の県政を推進し、“神奈川力”によって明るい確かな未来を切り拓いてまいりたいと考えています。どうか、皆様の温かいご理解とお力添えをよろしくお願い申し上げます。





新年のごあいさつ

横浜市長 中田 宏

あけましておめでとうございます。

本年も、横浜市民一人ひとりが健やかに充実した日々を過ごされるよう祈念いたします。

神奈川県空調衛生工業会の皆様には、大規模地震による災害発生時に、公共建築物の応急措置を行う本市との協定を通じて、市民生活の安全確保に大きく貢献していただいております。改めて感謝申し上げます。

さて、横浜港は、1858年の「安政の5カ国条約」に基づき、1年後に開港しました。その条約締結から150年の本年、第4回アフリカ開発会議（TICAD IV）が横浜で開かれます。日本近代化の原点の地で、世界の安定と繁栄、そして地球環境保全にとって重要なアフリカの未来が議論されるこの機会を、横浜のこれまでの歩みを振り返るとともに、今後国際社会の中で横浜が担うべき役割を自覚し行動する好機として、市民の皆様と関係機関の御協力をいただき、会議の成功を目指してまいります。

また、本年は、京都議定書に続く温室効果ガス削減の世界的な枠組みについて議論が展開される重要な年でもあります。私たち自身もG30の実績を活かして都市の持続可能性を高め、次世代へ継承するために行動する時です。脱温暖化型の生活・産業システムや豊かな水と緑の環境を、都市の魅力としてさらに高めるため、363万人市民・事業者の皆様とともに実効性ある取組を進めてまいります。

貴会の皆様には、すぐれた技術力を生かし、公共建築物へのESCO事業導入の御協力をはじめ、省エネルギー化や自然エネルギーの活用に対応した設備機器工事を進めることにより、引き続き地球環境保全への取組を進められますこ

とを期待しておりますので、今後も横浜市を取組への御理解・御協力をよろしくお願い申し上げます。

開港150周年まで500日余りとなる中、本年からは市民協働・参画の機会をさらに拡大し、新たな「出航」に向けた準備を加速してまいります。また、市営地下鉄中山～日吉間の開業や横浜トリエンナーレ2008の開催など、都市の魅力を高め発信する機会を活用し、市民が一丸となった祝賀と横浜の未来への期待感を盛り上げ、さらなる発展へつなげてまいりたいと考えておりますので、どうぞ御協力いただきますようお願い申し上げます。

最後に、神奈川県空調衛生工業会のますますの御発展と、皆様の御健勝をお祈りし、御挨拶といたします。



新年のごあいさつ



川崎市長 阿部 孝夫

あけましておめでとうございます。

新年を迎え、皆様の御健勝と御多幸を心からお祈り申し上げますとともに、今年一年が明るい話題にあふれた、良い年になりますようお願いしております。

昨年を振り返りますと、日本初のアメリカンフットボールW杯がこの川崎の地で開催され、アメフトを活かしたまちづくりにつながりました。また、本市の芸術文化の拠点として新百合丘の魅力が大きく花開いた年でもありました。

さて今年も、これまで策定を進めてきた、今後3年間のまちづくりの方針を示す「川崎再生フロンティアプラン・新実行計画」及び「新・行財政改革プラン」に基づき、効率的な行政運営を図りながら、質の高い行政サービスを提供し、「誰もがいきいきと心豊かに暮らせる持続可能な市民都市かわさき」の実現を目指した取組を計画的に進めてまいります。

また、川崎駅周辺について、利便性・回遊性の向上やバリアフリー化の推進など、風格ある川崎の顔づくりを目指した整備が進められる一方、横須賀線新駅の整備や利便性の高いまちづくりが進む武蔵小杉駅周辺では、等々力陸上競技場において、北京オリンピックの選考会となる「日本陸上選手権大会」が開催され、魅力あふれるまちづくりに一層のはずみがつくと考えております。

さらに、大災害発生時に、首都圏に集中する諸機能を速やかに復旧・確保するための基幹的広域防災拠点が東扇島地区に完成いたします。この場所には、平常時に市民の憩いの場として利用できる本市初の人工海浜も整備されております。

また、世界的に喫緊の課題である地球温暖化対策について、洞爺湖サミットに先駆けた八都府県市共催の環境フォーラムを開催し、首都圏における取組について、世界に向けて発信してまいります。

さらに、本市の地域資源である科学技術や、映像を始めとするコンテンツなどの知的財産を創造・保護・活用する取組について、アジア諸国に発信する「知的財産フォーラム」を開催し、知的財産モラルの構築に努めてまいります。

これからも、公平で公正な市政運営を徹底しながら、市民の皆様の安全で安心な暮らしを保障するとともに、川崎に愛着と誇りを持っていただけるよう、地域の個性と魅力を活かしたまちづくりに全力で取り組んでまいりますので、本年も引き続き、皆様の御協力をよろしく願います。



平成20年新年賀詞交換会



松沢 成文
神奈川県知事



金田 孝之
横浜副市長



松田 良昭
神奈川県議会議員



藤代 耕一
横浜市会議長

当会平成20年新年賀詞交換会が1月18日(金)午前11時から、ホテル・ニューグランドで開催されました。

当日は、神奈川県の松沢成文知事、横浜市の金田孝之副市長、神奈川県議会の松田良昭議長、横浜市会の藤代耕一議長をはじめ、地元選出国會議員、国土交通省・自治体幹部、県議会・市會議員、関係団体幹部等の100余名のご来賓を迎えるなど、当会正会員、賛助会員と合わせて約300名が出席しました。

定刻、司会者の紹介により、主催者を代表して川本守彦会長が挨拶に立ち、本日ご出席のご来賓各位に対するお礼の言葉と当工業会が昨年設立40周年を迎えることができたことに対する皆様方のお力添えについて感謝の言葉が述べられた後、「皆様既にいくつかの賀詞交換会にご出席になられたと思いますが、余り良い話は出てまいりません。まさに米国のサブプライムローンに始まる金融市場の混乱、そしてまた原油価格の高騰等による極めて先の読みにくい光の見えない状況が続く中、私ども建設産業におきましても、公共工事の大幅な縮減、そして昨年の6月20日に施行された改正建築基準法による確認審査の厳格化に伴う着工の遅れ、これは受注競争の激化を招きますし、強いては採算の悪化にもつながってまいります。そのように非常に多くの不安定な不確定な要因をかかえて年を越してまいりました。そして、昨年もまた私どもの業界においては、社会の信用を失墜するような事件が多く発生しました」と述べられ、続けて、「私どもの業界を取り巻く環境には非常に厳しいものがあります。しかしながら、そういう時だからこそ、私どもは額に汗して社会資本の整備を通して地域に社会に貢献してきた産業であるという自信と誇りを持って、この難局を乗り越えていかなければならないと思います。我々は、社会的責任を十分に意識した行動に徹して、品質の確保と適正価格での受注に努めなければならないと思います。そしてまた、CO₂の排出削減等世界の喫緊の課題である環境問題に一番近いところにいる産業界として、社会にそして地域に貢献していく使命があり、そ

うした行動を通して社会的認知を得て、私どもは確固たる地位を確立していかなければならないと思います」と述べられ、更に、「現在、神奈川県、横浜市は、知事、市長の陣頭指揮のもとに行財政改革に積極的に取り組んでいるところであります。私どもは、そのことを十分に評価しながら、業界としても背を向けることなく、同じ土俵に立ち、凛として、主体的に積極的に業界のあるべき姿を考えていかなければならないと思います。そして、そういった行動をとることが、たとえば制度疲労化しつつある横浜市の予定価格の事前公表、こういったものの近い将来の撤廃にもつながってくるというふうに確信するところであります。いずれにしても、課題の多い年だと思っておりますが、本日ご出席賜りました皆様方の力強いご支援、ご協力をいただきながら、当工業会は一步、一步、本年も確実に歩みを進めてまいりたいと思っておりますので、なにとぞよろしく願いいたします」との挨拶がありました。

続いて、ご来賓を代表して、松沢成文神奈川県知事、金田孝之横浜市副市長から、それぞれご祝辞をいただきました。

次に、ご来賓の国會議員をご紹介の後、神奈川県議会を代表して松田良昭県議会議員、横浜市会を代表して藤代耕一横浜市會議長から、それぞれご祝辞をいただきました。

また、当会顧問の新堀典彦神奈川県議員、関貞彦前横浜市會議員からもご祝辞をいただきました。

続いて、ご来賓の国土交通省関東地方整備局管轄部の野崎明宏設備課長と(社)日本空調衛生工事業協会関東支部長の高須康有(社)東京空気調和衛生工事業協会会長をご紹介いたしました。

次いで、ご祝電披露の後、坂山修平(社)日本空調衛生工事業協会専務理事の乾杯のご発声で祝宴に移り、ご来賓、正会員、賛助会員の終始和やかな懇談が繰り広げられ、12時30分、清水利治副会長の閉会の挨拶をもって、盛会裏のうちにお開きとなりました。

当工業会設立40周年記念 「クリスマス ハートフル コンサート」

当工業会の設立40周年記念事業として、神奈川県フィルハーモニー管弦楽団による「クリスマス ハートフル コンサート」が平成19年12月11日(火)午後7時から、横浜みなとみらいホール・大ホールで開催されました。

本コンサートの開催に当たっては、横浜みなとみらいホールのご協力と神奈川新聞厚生文化事業団、横浜市社会福祉協議会のご後援をいただきました。

当日のコンサートには、横浜市社会福祉協議会をとおして申し込まれた福祉関係の各施設・団体・グループ・個人と保護者の方560名と神奈川新聞等をとおして一般公募した県内小・中・高生と保護者の方240名、計800名の方々を無料でご招待し、また、当会関係機関・友誼団体等のご来賓の方々のほか、当会正会員、賛助会員企業との関係者と合わせて約1,100名の方々が参加しました。



主催者を代表して川本守彦会長挨拶

開演前に、主催者を代表して川本守彦会長が挨拶に立ち、「ご多忙にもかかわらず、本日のコンサートにご参加いただいた多くの方々、また、今回のコンサート開催に当たりご協力をいただいた横浜みなとみらいホール、ご後援をいただいた神奈川新聞厚生文化事業団、横浜市社会福祉協議会並びにそれぞれの団体で大変なご尽力をいただいた方々にお礼の言葉」を述べられた後、「本コンサート開催の趣旨や当工業会の紹介など」について述べられました。

コンサートは、予定どおり午後7時に開演され、山田和樹氏の指揮と楽しいお話で進められ、まず、第1部は「あなたを楽しいクラシックの世界へ」と題して、ビゼー作曲の歌劇「カルメン」より前奏曲のほか5曲が演奏されました。15分間の休憩をはさんで、第2部は「クリスマス・オン・クラシック」と題して、フンパーディング作曲の歌劇「ヘンゼルとグレーテル」前奏曲とチャイコフスキー作曲のバレエ音楽「くるみ割り人形」より抜粋の小序曲ほか8曲が演奏されました。



指揮と楽しいお話：山田和樹氏

第1部と第2部に予定された演奏がすべて終わったところで、当工業会事務局職員の天野美知子さんと佐々木美津子さんから指揮者とコンサートマスターのお二人に感謝の花束が贈呈されました。

この後、会場からの鳴りやまぬ拍手に応え、アンコール曲として、アンダーソン作曲の「そりすべり」が演奏され、午後8時50分頃好評のうちに終演となりました。なお、後日、本コンサートに参加された方々から、お礼のお手紙や「楽しかった。良かった」と言うお褒めのお言葉を多数いただきました。



当工業会職員から指揮者とコンサートマスターに花束贈呈

当日のチケット

社団法人 神奈川県空調衛生工業会
設立40周年記念

クリスマスハートフルコンサート

2007年12月11日(火)
19:00開演(18:20開場)※20:30終演予定
横浜みなとみらいホール

御招待

主催/社団法人 神奈川県空調衛生工業会
協力/横浜みなとみらいホール
後援/財団法人 神奈川県新聞厚生文化事業団
社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会

クリスマスハートフル
コンサート

御招待

2007年12月11日(火)
19:00開演
横浜みなとみらいホール

当日のプログラム



そら まる くうえいもんどう
空ちゃんと衛おじさんの空衛問答

空 Q & A 衛



- Q 「社団法人 神奈川県空調衛生工業会」って、どんな会なの？
- A 神奈川県内で「空調衛生設備工事業」を仕事にする有力な会社約100社が会員になっている県知事許可の会（企業集団）だよ。
- Q 「空調衛生設備工事業」って、どんな仕事をする会社なの？
- A おもに建物内の空調、冷暖房、給排水、衛生、防災、環境、省エネルギー等の設備工事の仕事をする会社だよ。
- Q 「空調衛生設備」って、私たちの暮らしにも関係があるの？
- A 関係があるよ。マンションや病院、学校や市民ホール、オフィスビルや工場など私たちの身近にある建物内の空調衛生設備のほか、最近では、横浜市のみなとみらい地区に見られるような超高層ビル群や大深度地下鉄駅コンコース内の空調衛生設備など、より専門的な技術が必要とする工事も増えているんだ。
- Q 「社団法人 神奈川県空調衛生工業会」って、どんなことをしているの？
- A 空調衛生設備工事の品質の確保とお客様の満足度を向上するため、「技術と経営に優れ、信頼される企業集団」をめざして、会員会社の技術力と経営力を高めるための技術講習会や経営研修会などさまざまな事業を行っているんだ。
また、人々に快適な空間を提供し、地球環境の保全にも努めている企業集団として、会の設立目的である公共の福祉の増進と地域社会の発展に貢献するための活動を積極的に展開しているんだ。

人々に空気と水で40年 さらなる飛躍の神空衛



社団法人 神奈川県空調衛生工業会
〒231-0002 横浜市中区海岸通4丁目19番地
TEL 045-201-9536 FAX 045-211-2477
<http://www.shinkuei.or.jp/>

社団法人 神奈川県空調衛生工業会
設立40周年記念

クリスマスハートフル コンサート



2007年12月11日(火)
19:00開演(18:20開場)
横浜みなとみらいホール

主催/社団法人 神奈川県空調衛生工業会
協力/横浜みなとみらいホール 後援/財団法人 神奈川県厚生文化事業団
社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会

指揮・お話/山田 和樹 Kazuki Yamada
オーケストラ/神奈川フィルハーモニー管弦楽団

第1部 あなたを楽しくクラシックの世界へ

- ビゼー/歌劇「カルメン」より前奏曲
グリーグ/「ペールギュント」第1組曲より
「朝」「山の魔王の宮殿にて」
マスカーニ/歌劇
「カヴァレリア・ルスティカーナ」より間奏曲
アンダーソン/
「リンク・ブレンク・ブランク」
アンダーソン/タイプライター
シベリウス/交響詩「フィンランディア」

第2部 クリスマス・オン・クラシック

- フンパーディング/
歌劇「ヘンゼルとグレーテル」前奏曲
チャイコフスキー/バレエ音楽
「くるみ割り人形」より抜粋
☆小序曲 ☆クリスマスツリー
☆行進曲 ☆冬の松林での情景
☆お茶(中国の踊り)
☆トレパーク(ロシアの踊り)
☆花のワルツ
☆バド・ドゥ より「序奏」と
「こんべい糖の踊り」
☆終幕のワルツと大詰め



プロフィール

山田 和樹



1979年、神奈川県横浜市生まれ。
2001年3月、東京芸術大学音楽学部指揮科卒業。安宅賞受賞。指揮法を小林研一郎、松尾繁子の両氏に師事。
2002年7月には、ザルツブルグ・モーツァルテウム・サマーアカデミーに参加、ゲルハルト・マルクソン氏に指導を受ける。
これまでに、オーケストラでは、ブルガリアVARNAフィル、セントラル愛知交響楽団、瀬戸フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団メンバーによる室内合奏団をはじめ、横浜市立大学管弦楽団(ミュージックアドバイザー)、千葉県少年少女オーケストラなど全国約50団体以上のアマチュアオーケストラの指揮指導にも力を注いでいる。
今年、2007年は、2月に神奈川フィルハーモニー管弦楽団、委嘱作品初演を含む東京混声合唱団第209回定期演奏会を指揮した。さらに1月には、シャルル・デュワ指揮のNHK交響楽団定期演奏会(プロフィエフ/アレクサンドル・ネフスキー)にて東京混声合唱団(120人編成)の合唱指揮を担当。その音楽作りをデュワ、N響から絶賛された。
今後、2007年5月~6月、12月にオーケストラ・アンサンブル金沢、7月に瀬戸フィルハーモニー交響楽団定期演奏会、8月、12月に神奈川フィルハーモニー管弦楽団、2008年2月に委嘱作品初演を含む東京混声合唱団第214回定期演奏会での指揮が予定されている。
<http://www17.ocn.ne.jp/~yamakazu/>

神奈川フィルハーモニー管弦楽団



1970年3月、神奈川県唯一のプロ・オーケストラとして発足。1978年7月に財団法人に、1985年6月には特定公益法人に認可される。以来、地元企業からの支援とともに、神奈川県、横浜市、川崎市、さらに文化庁からの助成を受け今日に至る。
2000年9月から常任指揮者に現田茂夫が、2002年4月からボッパオーケストラ音楽監督に唐野浩一がそれぞれ就任。2007年4月に音楽監督としてドイツ音楽の巨匠ハンスマルティン・シュナイターを迎え、今最も注目されているオーケストラである。 <http://www.kanaphil.com>

定例理事会議事報告（11月・12月・1月）

11月定例理事会

平成19年11月9日(金)午後2時から第423回定例理事会が開催された。

その議事内容の要旨は次のとおりである。

1. 平成20年新年賀詞交換会実施計画(案)について

松本副会長兼総務委員会委員長から、辻専務理事に対し、資料の説明が求められた。

専務理事から、配付資料により、当工業会の平成20年新年賀詞交換会実施計画(案)について説明があり、協議の結果、原案のとおり承認された。

12月定例理事会

平成19年12月14日(金)午後2時30分から第424回定例理事会が開催された。

その議事内容の要旨は次のとおりである。

1. 平成20年新年賀詞交換会の運営について

松本副会長兼総務委員会委員長から、辻専務理事に対し、資料の説明が求められた。

専務理事から、配付資料により、当工業会の平成20年新年賀詞交換会等開催要領並びに

同賀詞交換会当日の役割分担について説明があり、協議の結果、原案のとおり承認された。

2. 友誼団体等賀詞交換会への出席について

松本副会長から、辻専務理事に対して、平成20年における友誼団体等の賀詞交換会日程並びに本工業会の出席者(案)について、資料の説明が求められた。

専務理事が配付資料の説明を行い、各団体の出席者について、原案のとおり承認された。

1月定例理事会

平成20年1月18日(金)午前10時から第425回定例理事会が開催された。

その議事内容の要旨は次のとおりである。

1. 平成20年新年賀詞交換会の運営について

松本副会長兼総務委員会委員長から、辻専務理事に対し、資料の説明が求められた。

専務理事から、配付資料により、当工業会の平成20年新年賀詞交換会の次第並びに同賀詞交換会の役割分担等について、確認のための説明があり、了承された。



横浜市まちづくり調整局 平成19年度合同安全パトロール 安全委員会

1. 総 評

第37回横浜市公共工事安全パトロール（平成19年度）は、11月28日（水）に横浜市発注の10現場（請負数11）について

- ① 墜落、転落、建設機械、土砂崩壊、第三者災害防止への措置
- ② 労働衛生管理（酸欠、粉塵、有機溶剤等に関する管理状況）
- ③ 建設産業廃棄物分別収集の実施（G30推進運動への協力）

上記3項目を重点点検項目とし、安全パトロールチェックリストをもとにパトロールを実施しました。パトロール対象現場の平均出来高は、31.4%（平成18年度 46.3%）で、平均請負金額は5,547万円/件（平成18年度 3,087万円/件）という状況でした。

また、今年度パトロール対象の10現場のうち1現場は、機械設備工事が空調・衛生工事に分かれて発注されており、11現場（請負数）でパトロールを実施させていただきました。

パトロール対象項目は、17.5項目/現場（平成18年度 17.8項目/現場）と昨年とほぼ同程度です。10現場のうち、当日設備作業員のいない現場が、約半数の5現場あり、作業状況を十分に確認することは出来ませんでした。その現場については、日常の安全管理状況等を書類及び現場代理人とのヒアリングにより確認いたしました。

『産業廃棄物分別収集の実施』については、ほとんどの現場で行われ、また、鉄くず、金属類においては、リサイクルも進められており、『G30』の意識が浸透していることが伺えました。

点検項目の評価としては、『A評価』『B評価』の比率が、96.9%（平成18年度 95.6%）と高く、一部、書類の不備が見受けられましたが、全体として安全管理意識が定着しているものと考えられます。



■パトロール対象項目の評価状況

		平成19年度		平成18年度	
パトロール 対象項目	総数	192	100%	410	100%
	A評価	179	93%	303	74%
	B評価	7	4%	89	22%
	C評価	6	3%	18	4%
パトロール項目数/現場		17.5		17.8	

※安全パトロール対象現場数 平成19年度10現場（請負数11）
平成18年度25現場（請負数23）

■工事進捗状況の分布

	0%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	平均出来高
平成19年度	1	4	2	2	2	0	31.4%
平成18年度	0	5	4	6	7	1	46.3%

	工期内完成可能	やや遅れる	大分遅れる
平成19年度	10	1	0
平成18年度	21	2	0

■請負金額による工事規模の分布

	~2千万	~4千万	~6千万	~8千万	~10千万	~12千万	12千万~	平均請負金額
平成19年度	2	5	3	0	0	0	1	5,547万円/現場
平成18年度	10	8	0	1	4	0	0	3,087万円/現場

安全パトロール委員

編成班	氏 名	会 社 名
1 班	石 田 哲 也	(株) 光 電 社
	松 下 昇	日 宝 工 業 (株)
2 班	加 藤 久 貴	川 本 工 業 (株)
3 班	隅 河 内 仁	(株) ヨ コ レ イ
4 班	宗 民 生	(株) 太 陽 設 備
5 班	小 宮 均	三 沢 電 機 (株)

2. チェックリストによる項目別点検結果

①管理体制

項目	平成19年度				平成18年度			
	対象 件数	評点			対象 件数	評点		
		A	B	C		A	B	C
1. 安全管理組織表の掲示	11	8	3	0	22	15	5	2
2. 緊急連絡先一覧表の掲示	11	8	3	0	22	18	4	0
3. 適用事業報告、3・6協定届	11	8	3	0	22	15	3	4
4. 有資格者の確認（免許、終了証の写）	11	8	3	0	23	12	8	3
5. 作業員名簿、健康診断個人表	11	8	2	1	23	12	9	2
6. 安全日誌の記録、指示書の発行	11	8	1	2	23	15	8	0
7. 新規入場者の教育の実施	11	9	2	0	23	17	5	1
8. 救急薬品の備付	11	9	2	0	23	17	5	1
9. 施工体制台帳・安全衛生計画書	11	8	3	0	23	16	5	2
10. 施工体系図の表示	11	8	3	0	22	17	3	2
計	110	82	25	3	226	154	55	17
	100%	74.5%	22.7%	2.7%	100%	68.1%	24.3%	7.5%

<指摘・指導事項>

- ・安全組織表の掲示・緊急連絡先の掲示をしていない
→安全組織表・緊急連絡先の掲示をするように指示
- ・有資格者証の本証を携帯していない、必要な資格を有していない
→本証を携帯するよう指示
→資格取得の指導をするよう指示（職長・安全責者、酸欠作業主任者等）
- ・作業員名簿に作業員の入場日が記入されていない
→作業員の入場日を記入するよう指示
- ・新規入場者教育で確認した健康診断日が、期限を過ぎている
→受診の確認と、実施済みであれば至急受診日を記入するようよう指示
- ・作業員名簿、安全日誌、指示書等、現場に保管されていない
→現場に保管し、活用するよう指示
- ・安全衛生管理計画書が掲示されていない
→事務所に掲示するよう指示
- ・施工体制台帳の記入漏れあり
→記入漏れのないよう指示

主な指摘事項は、以上のとおりです。一部の現場において書類の管理面での不備が見受けられましたが現場事務所を設置できない現場においても、建築業者、電気業者と協力しあい、詰

所の共用や掲示物の工夫をされている現場が多数見受けられるようになり、各現場のご苦労が感じてとれ、感心させられるものがありました。

②一般事項

項目	平成19年度				平成18年度			
	対象 件数	評点			対象 件数	評点		
		A	B	C		A	B	C
1. 保護用の着用（アゴ紐）	10	8	2	0	14	12	2	0
2. 保護具の確保、使用状況（マスク、メガネ）	10	8	2	0	8	5	3	0
3. 現場内の整理整頓、照明	10	8	2	0	21	18	3	0
4. 消火器の設置、喫煙場所の指定	9	8	1	0	19	17	2	0
計	39	32	7	0	62	52	10	0
	100%	82.1%	17.9%	0.0%	100%	83.9%	16.1%	0.0%

今回特にパトロール当日、作業員ゼロの現場が半数近くありましたが、作業されている現場については特に指摘事項はありませんでした。

③墜落・転落防止

項目	平成19年度				平成18年度			
	対象 件数	評点			対象 件数	評点		
		A	B	C		A	B	C
1. ローリングタワーの設備等	0	0	0	0	0	0	0	0
2. 脚立足場の使用状況（三点支持、結束）	0	0	0	0	8	5	3	0
3. 開口部の養生は適切か	5	4	0	1	10	9	1	0
4. 脚立の単独使用（架台を使用していないか）	3	3	0	0	7	5	2	0
5. 梯子の使用状況	1	0	0	1	1	0	1	0
6. 安全帯の着用と使用状況	7	6	1	0	13	8	5	0
計	16	13	1	2	39	27	12	0
	100%	81.3%	6.3%	12.5%	100%	69.2%	30.8%	0.0%

当日、半数（請負数5／請負数11）の現場は作業員ゼロでした。現場の規模（使用期間）から考えると簡易足場を使っでの作業が多いと想定されますが、実際それらを使用している状況を確認することは出来ませんでした。

改修工事の現場が多い（約6割）ということもあり、簡易に利用できる脚立・伸び馬を使用する現場が増えてきています。また、最近はそれらを使用している際の事故事例も増えていきます。脚立・伸び馬とも使用する場合は、作業員に対し、安全な使用方法について十分な指示・指導をする必要があると考えられます。

④ガス・電気溶接

項目	平成19年度				平成18年度			
	対象 件数	評点			対象 件数	評点		
		A	B	C		A	B	C
1. ボンベの転倒防止措置	0	0	0	0	0	0	0	0
2. ボンベに使用責任者名、空・充の表示	0	0	0	0	0	0	0	0
3. ホース、ゲージに損傷、ホースバンド	0	0	0	0	0	0	0	0
4. 溶接機の使用許可証、使用責任者名	0	0	0	0	0	0	0	0
5. ホルダー、キャブタイヤ等に損傷	0	0	0	0	0	0	0	0
6. 自動衝撃防止措置	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0
	-	-	-	-	-	-	-	-

今回、使用している現場は、ありませんでした。

⑤重機・クレーン

項目	平成19年度				平成18年度			
	対象 件数	評点			対象 件数	評点		
		A	B	C		A	B	C
1. 車輛系建設機械の特定自主検査証	1	0	1	0	2	1	1	0
2. クレーンの過巻防止装置等	0	0	0	0	0	0	0	0
3. 立入禁止措置、監視員の措置	0	0	0	0	1	1	0	0
4. 用途外使用時の措置	0	0	0	0	0	0	0	0
5. 玉掛用具の使用状況	0	0	0	0	0	0	0	0
6. 点検記録(日常点検記録)	0	0	0	0	4	2	1	1
7. 高所作業車の措置	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1	0	1	0	7	4	2	1
	100%	0.0%	100%	0.0%	100%	57.1%	28.6%	14.3%

<指摘・指導事項>

特にありませんでした。

⑥電気設備

項目	平成19年度				平成18年度			
	対象 件数	評点			対象 件数	評点		
		A	B	C		A	B	C
1. 配(分)電盤の行先表示	5	5	0	0	13	12	1	0
2. 電気取扱責任者の明示	5	5	0	0	12	12	0	0
3. アースの接地状況	5	5	0	0	10	10	0	0
4. 電動工具の使用状況	5	3	1	1	10	8	2	0
計	20	18	1	1	45	42	3	0
	100%	90.0%	5.0%	5.0%	100%	93.3%	6.7%	0.0%

<指摘・指導事項>

- ・高速カッターの側面カバーなし
→使用していなかったが、外れていたので取り付けるよう指示

⑦その他

項目	平成19年度				平成18年度			
	対象 件数	評点			対象 件数	評点		
		A	B	C		A	B	C
1. 地山の掘削の状況	0	0	0	0	1	1	0	0
2. 土止め支保工の状況	0	0	0	0	1	1	0	0
3. 不安全作業、行動の有無	1	1	0	0	5	3	2	0
4. 酸欠防止対策、換気方法	1	1	0	0	10	7	3	0
5. 加工場・資材置き場の整理整頓	4	3	1	0	14	12	2	0
計	6	5	1	0	31	24	7	0
	100%	83.3%	16.7%	0.0%	100%	77.4%	22.6%	0.0%

<指摘・指導事項>

特にありませんでした。

⑧安全対策・G30活動状況

現場を統括管理している建築業者主催の災害防止協議会にはほぼ全社が出席し、協議会での審議事項及び諸官庁からの伝達事項等、月1回のミニ防災協を開催し関係各社へ周知を図っています。

又、日々の安全施工サイクルの励行、KY活動等の安全管理活動が行われており、事業主パトロールも実施されていきました。

現場の大小にかかわらず、危険は、『油断』という心の隙間に潜んでいます。簡単な作業であれ、的確な作業手順、指示・指導が必要と思われます。

『産業廃棄物分別収集』については、ほとんどの現場が、分別収集をし資源の再利用に取り組んでいます。各現場での産業廃棄物に関する意識は、昨年同様定着しています。

改修工事(使用しながらの作業)が半数を超えるようになり作業上の安全管理・第三者への災害防止への配慮、現場事務所のない現場での施工管理など、現場を進めていく上でより高いレベルでの的確な管理を要求される状況が年々増加しております。今後は、安全管理を効率的・効果的に行うためにも各作業員が現場に入場する際『事業主による作業員への送り出し教育』、『現場における新規入場者教育』を更に充実させ、また『現地KY』を確実に実施することが必要と感じました。

最後にあたり、横浜市御当局、(社)横浜建設業協会、(社)横浜市電設協会の皆様のご指導、ご協力を得まして無事パトロールを遂行できましたことを厚く御礼申し上げ、報告とさせていただきます。

なお、この報告書は、神奈川県空調衛生工業会のホームページに掲載されています。ご参照ください。

ホームページアドレスは、<http://www.shinkuei.or.jp/>

◎ 横浜市合同安全パトロールに参加して

安全委員会委員
川本工業(株) 加藤 久貴

平成19年11月28日(水)横浜市まちづくり調整局、(社)横浜建設業協会、(社)横浜市電設協会と当空調衛生工業会による合同安全パトロールが実施されました。

本年度で第37回を迎えたこの合同安全パトロールですが、事前説明会の会場で以前はパトロール現場の数も多く1班6現場の12班体制で実施されていた年もあったと、(社)横浜建設業協会の白井会長より説明がありました。近年、公共工事の減少により今年は1班2現場の5班体制で、計10現場が対象となり第2班のパトロール要員として参加させていただきました。

例年通り、三大災害防止への措置、労働衛生管理状況、産業廃棄物分別収集の実施状況の確認を重点目標に掲げ、パトロールを実施致しました。

当日は、午前10時に二俣川小学校に集合しました。肌寒い天候の中、グラウンドでは小学生が元気一杯に運動している姿を見ながらパトロールは始まりました。現場事務所が建築使用のプレハブ1棟のみで、全員が入ることが出来ないため電気と機械設備は現場パトロールから始めました。休憩時間のためか、作業員の方は見受けられませんでした。ピット内作業中の場所でピット内を昇降する梯子が不安定であったので、すぐに改善するよう指導致しました。また、屋



上においての作業が今後発生するというので、スラブ端部及び、機械室内のダクト開口からの墜落・転落災害の無いよう併せて指導致しました。

安全書類においては、細かな指摘は致しましたがおおよそ整備され、また、安全書類確認中における現場代理人の受け答えにも安全に対する配慮が十分感じられました。

午後は、保土ヶ谷区の岩崎町に建設中の桜ヶ丘アパート第二期建替工事をパトロール致しました。この現場は、建築・電気・機械設備とそれぞれ現場事務所を構え、また、作業員詰所も完備されていました。

当日の作業員は3名でしたが、それぞれに問題なく作業されていました。安全書類にもこれといった指摘事項は見当たらず、よく整備されていました。当現場は、建築業者さんが横建協からG30推進のモデル現場として指定されていることから、G30活動が推進され現場内の環境が整っており、機械設備においても再生材の利用、ごみの分別収集等の活動が活発に行われていると感じました。

私も、この合同パトロールに参加させていただき今回で4回目のパトロールとなりました。年々工事量は減少しつつも、各業者さん方々の安全に対する意識もかなり定着してきているように思われます。今後も安全第一を基本理念とし、改正された労働安全衛生法の一部リスクアセスメント手法を確実に実施し、労働災害ゼロの職場を目指していきたいと思っております。



横浜市優良工事表彰式

横浜市の平成19年度優良工事表彰式が、平成19年11月30日(金)横浜市市長公舎において開催されました。

この表彰式は、横浜市が発注した工事を優秀な成績で施工した請負業者の方々に対して、その業績を顕彰するために毎年行うものであり、今回で28回目となります。

さらに今年度からは、新たに優秀な技術者についても、横浜市優良工事技術者として表彰されることとなりました。

本年度の優良工事請負業者表彰には、設備部門が17社、建築部門が7社、土木部門が35社の合計59社が、また、優良工事技術者表彰には、設備部門が4名、建築部門が2名、土木部門が21名の合計27名が選ばれ、それぞれ各部門の代表者に中田宏市長から、表彰状が手渡されました。

式典には、主催者側の中田市長、関係局長と、来賓として当工業会の松本副会長ほかの方々が出席しました。

当工業会会員からは、優良工事請負業者表彰で次の4社が、また、優良工事技術者表彰で次の1名の方が表彰されました。心からお喜び申し上げます。

優良工事請負業者表彰 [設備部門]

エルゴテック 株式会社 代表者 落合 康利
株式会社 光電社 代表者 築地 正明
南設備工業 株式会社 代表者 浜中 守紀
山本電気水道 株式会社 代表者 山本 正寿

優良工事技術者表彰 [設備部門]

甘粕 孝 (山本電気水道 株式会社)

会員消息

《正会員》

◎事業所所在地変更

・大成設備株式会社
(変更日 平成20年1月)

新 〒220-0012
横浜市西区みなとみらい3丁目6番3号
(MMパークビル4階)
TEL 045-228-2636
FAX 045-228-2637

旧 〒231-0033
横浜市中区長者町6丁目96番2号
(横浜第2有楽ビル2階)
TEL 045-261-2720
FAX 045-252-3327

編集後記

会員の皆様新年明けましておめでとうございます。新たな年が幕を開けた今、皆様は希望に胸を膨らませていることと思われます。

本誌はお陰様でめでたく記念すべき第100号を迎えることとなりました。今後とも情報誌として皆様にご愛読頂けるよう、より一層内容の充実に努力しますので宜しくお願い致します。

さて昨年は原油価格の高騰が要因となり、ガソリン価格の値上げ、プラスチックなどの石油化学製品の値上げに伴う家電製品や日用品など幅広い製品価格の上昇等、庶民の財布への影響は多大なものでした。また食品業界の様々な偽装問題、さらに年金問題等先行き不安になる出来事が多い年であったように思われます。

しかし今年は大きなイベントとして、夏に北京オリンピックが開催されます。熱戦を繰り広げる選手たちの姿に我々も熱くなって応援し、感動を得ることでしょう。

また、日本が議長国となり北海道洞爺湖にて主要国首脳会議(サミット)が開催されます。各国首脳により世界経済が安定に向かうような話し合いがなされることを期待したいものです。余談ですが、なぜか日本で開催される年は必ず解散総選挙が行われるというジンクスがあるそうです。

来年はいよいよ横浜開港150周年を迎えることとなりますので、ますます横浜が活気付くよう我々も大いに盛り上げて行きたいものです。

最後に2008年という年が会員各位の皆様にとってすばらしい一年となりますよう陰ながら祈念いたしております。
(E.T記)

直結給水ブースタポンプ

(社)日本水道協会認証

PURE FRESSURE

[ピュアフレッシャー]



口径20~50mm



口径75mm



● 管端コア内蔵形バルブ標準装備 (吸込・吐出し側)

飲料水のより高い安全性と、配管の耐久性に配慮しました。
※口径75mmはフランジ接続

● ステンレス製キャビネット

ステンレス製キャビネットを標準で採用しました。

● ACリアクトル標準装備

高調波を抑制するとともに、効率を改善します。

● 高性能

ステンレス製多段渦巻ポンプMVFA型を搭載。
高効率で、省エネルギーを推進します。

キャビネットタイプは **BOB** [ボブ] と **R.a.c.s.e** [ラクッセ] におまかせください。
小規模ビル用・コンパクト形 中・大規模ビル用・大水量形



荏原テクノサーブ株式会社

神奈川支店 〒222-0033 横浜市港北区新横浜1-9-1

厚木営業所 〒243-0034 厚木市船子142

湘南営業所 〒251-8502 藤沢市本藤沢4-2-1 (株)荏原製作所P0棟

☎(045)472-0611

☎(046)229-6011

☎(0466)83-7300

<http://www.et.ebara.com/>

TOTO

衛生陶器並附属金具

各種水栓金具

洗面化粧台・浴槽

給湯機

受水槽・高架水槽

システムキッチン設計施工

ユニットバスルーム設計施工

創業明治29年・TOTO(株)特約店

丹羽窯業株式会社

本社・横浜営業所

横浜市中区日ノ出町1-103 ☎045(241)5321

東京営業所

東京都台東区台東1-27-7 ☎03(3822)0267

目黒営業所

東京都目黒区南3-15-4 ☎03(3718)4135

湘南営業所

藤沢市善行6-19-1 ☎0466(82)6120

新しい、
時代のために

kanzai

管工機材・住宅・ビル設備機器・プラント機材・国内外総合商社

日本管技センター株式会社

本社：〒104-8401 東京都中央区八丁堀 2-23-1 エンバイヤビル
TEL 03(5541)5111(大代表) FAX 03-5541-5115

配送センター：〒136-0082 東京都江東区新木場 3-2-4
TEL 03(3522)1261(代表) FAX 03-3522-1265

HOCHIKI

防災・防犯・通信技術で
社会や環境を守る
「安心の総合防災企業」、
ホーチキ。



平成18年6月1日から、新築住宅には
「住宅用火災警報器」を設置しなくてはなりません。

住宅火災で最も多い原因は「逃げ遅れ」によるもので、その死者数の割合は全体の約6割を占めます。
住宅用火災警報器はその「逃げ遅れ」の予防策として、火災を早期に見つけて音でお知らせします。

■ 本社

〒141-0021 東京都品川区上大崎2丁目10番43号
TEL. 03 (3444) 4111

■ 横浜支店

〒221-0052 横浜市神奈川区栄町5番地1 横浜クリエイション8階
TEL. 045 (451) 3380

■ 川崎営業所

〒210-0007 川崎市川崎区駅前本町15-1 十五番館ビル11階
TEL. 044 (246) 4840

 **ホーチキ株式会社**

azbil

人を中心としたオートメーション

山武は「計測と制御」の技術をもとに、建物や環境にかかわる省エネルギー・省力・快適・安全・利便性を追求し、企画・開発から販売・サービスまでの一貫体制を確立。建物経営をバックアップする最適なソリューションをご提供しています。

建物から社会へ、地球環境へ

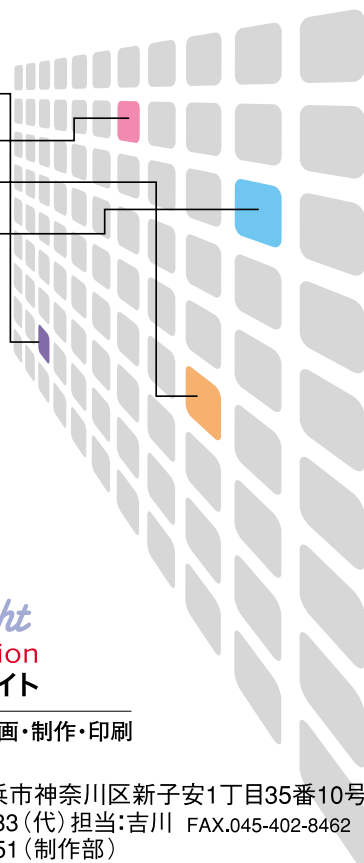


株式会社 山武
ビルシステムカンパニー 横浜支店

〒220-8144 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1 横浜ランドマークタワー
TEL.045-224-1550 <http://jp.azbil.com>

azbilは山武グループのシンボルマークです。

Marketing
Planning
Creative
Printing




best
communication
株式会社 D-サイト

マーケティング・企画・制作・印刷

〒221-0013 横浜市神奈川区新子安1丁目35番10号
TEL.045-439-3433 (代)担当:吉川 FAX.045-402-8462
TEL.045-439-3451 (制作部)



会 報

第100号 平成20年1月31日

社団法人 **神奈川県空調衛生工業会**

横浜市中区海岸通4丁目18番地

TEL 045 (201) 9536 (代)

U R L:<http://www.shinkuei.or.jp>

E-mail:info@shinkuei.or.jp

情報委員会

印刷 株式会社 D-サイト